入院診療計画書:急性胃腸炎パス

病棟 号室 患者氏名: 〈〈ORIBP KANJI〉〉 <<p><<DYTODAY>>発行 月日 **#VALUE!** #VALUE! ~ 焰 経過 入院当日 2日目 3目目 ~ 退院 ・嘔吐がなく食事摂取が出来る ・水分摂取しても嘔吐がない ・指示された安静が守れる ・機嫌がよくなる 達成目標 眠ることができる ・機嫌がよくなる ・感染予防の必要性・方法がわかる ・感染予防の必要性・方法がわかる ・感染予防の必要性・方法がわかる ・退院後の生活の注意点がわかる ・絶飲食にて腸管の安静をはかり回復を待ちます ・必要な水分の補充のため、24時間点滴を行います • 点滴は嘔吐 • 下痢の回数や 治療計画 • 点滴の漏れがないか確認していきますが、点滴刺入部の (点滴•内服) 食事の量をみながら中止します 痛みや腫れがある時には声をかけて下さい 飲み薬が始まります • 点滴の漏れがないか確認していきますが、点滴刺入部の痛みや腫れがある時にはお知らせ下さい 処置 おしっこの検査があります 検査 必要があれば採血やレントゲンの撮影を行います • 入院中は、感染防止のため室内のみで活動できます 活動 • 入院や点滴により行動が制限されるためストレスが生じます 最小限のおもちゃであれば持参しても構いませんが、 安静度 周りのお子さんの迷惑にならない様にお願いします 腸管を休めるため、食べたり ・吐き気のおさまりを待って、水分(水やお茶)の摂取を始めます 食事 • 水分摂取後も吐き気がなければ、やわらかい食事を始めます 飲んだりはできません ・シャワーはできません 毎日、タオルで体を拭きます • 看護師が行うと恐怖心により泣き出したり騒いでしまう恐れがありますので、 清潔 ご家族にお願いすることもあります 発汗やお漏らし等でシーツや病衣が汚れた時は交換しますので遠慮なく声をかけて下さい ・おしっこや便も室内で行います ・おしっこと便の回数を記録してください 排泄 ・排泄物の処理は看護師が説明します ・看護師が入院中の生活について説明します 退院後の生活 • 入院中はご家族に付き添っていただきます ・入浴は退院後より可能です ・部屋を出入りされる時やオムツ、排尿・排便後、嘔吐時の手洗いと • 通園 • 通学は退院時に 手指消毒を徹底して下さい お知らせします ・オムツ交換や吐物の処理の時は、マスクと手袋の着用をお願いします 手洗い・うがいを心掛けて下さい ・感染性のある腸炎の場合にはガウンを着用していただきます 指導 ・退院後も継続して感染予防が お子さんの点滴は輸液ポンプで管理していきます 説明 必要な場合は、再度説明します アラームが鳴りましたらお知らせください ・子供の行動は予想がつかず、 ベッドからの飛び降りや転倒の危険があります ご家族の方はなるべくお子さんから目を離さないようにお願いします • 目を離す時やそばを離れる時は必ずベッド柵を上げて下さい 栄養状態に合わせた栄養管理を行います 特別な栄養管理の 必要性 無 病名: 佐賀県医療センター好生館 小児科 主治医:〈〈ORDCT_S_A〉〉 📵 看護師: 〈〈ORDCT_N_A〉〉 @ 症状: 主治医以外の担当者名: 担当医 〈〈ORDCT_T_A〉〉 薬剤師 ▲▲▲ 管理栄養士 ▲▲▲ 平成 上記について説明を受けました。 缶 月 \Box 患者氏名: ⑪ (印鑑がない場合は自署) 親族氏名: ⑪(患者本人が未成年または親族の同意が必要な場合に記入)

注1:病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2:入院期間については、現時点で予想されるものです。